

令和元年度学校評価

令和元年度の教育活動等に対する学校評価書

令和2年3月31日

学校法人 松城幼稚園

園長 大高 今日子

学校法人 松城幼稚園 学校関係者評価委員長 金田 圭織

1. 幼稚園の教育目標

- ・人と人の関わりを通して、お互いを思いやり成長させていく力を養う。
- ・日常生活での出来事・恵みに喜び、感謝する気持ちを育てる。
- ・自分の思いを相手にしっかり伝え、行動できるよう導いていく。

2. 本年度の重点目標(学校評価の具体的な目標や計画)

1. 途中であきらめず、最後までがんばる力を身に付ける。
2. 自分だけでなく、相手に対する思いやりを育てていく。
3. 子どもひとりひとりの個性を大事にしていきながら、苦手な物へのチャレンジも安心してできるよう導いていく。

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は、A{十分に成果があった}・B{成果があった}・C{少し成果があった}・D{成果がなかった})

評価の対象	評価項目	自己評価		評価委員会	
		点	幼稚園としての反省と改善策	点	意見
① 教育内容	教育理念や教育方針の確立	A	・子どもたちひとりひとりの思いに気づき、それに寄り添っていけるような保育を心掛けた。 ・子ども達にもキリスト教保育の中で大切な事(思いやり・感謝・敬う)をこれからも教え続けていく。 ・他園との共同研修を行うことによって教師の資格を高めていくことも	A	キリスト教の理念に基づいた保育の中で、心の教育を大切に、子ども一人一人に合わせた教育内容が実施されている。 2歳児保育,満3歳児保育の入園児が増えた際には、教職員を増やし、環境構成など他学年との兼ね合いを考慮した保育が行われていた。
	教職員体制の充実と人事管理				
	教育環境の構成の工夫				
	研修や研究の取り組み				

			出来たためこれからも行っていききたいと思う。		
② 保育の計画性 幼児への対応	保育と計画の評価・反省	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画をしっかり話し合い、環境設定し保育を行っていく。 ・子ども達の個性も尊重し、子ども達のその日の様子を見守りながら声掛けを行い、発達段階に応じた保育を行うよう心掛けた。 	A	<p>日々の保育の中で行事に向けて、様々な配慮をし、子ども一人一人の良さを伸ばすために大切なことを見極め関わっている。</p> <p>体調の崩しやすい季節には、子どもたちの様子をお便りやメールにて発信し、感染を最小限に抑えられるよう対応している。</p>
	健康と安全への配慮や言葉かけ				
	幼児への見とりと理解				
	遊びの援助者としての関わり方				
③ 教師としての資質・能力・適正等	教師としての能力・良識の備え	B	<p>保育カリキュラムをきちんと立て、保育内容がマンネリ化しないよう他園との研修で学んだ新しいものへのチャレンジにも取り組んでいく。</p>	A	<p>全園児を教職員で温かく見守り、良い方向へ導いていけるよう取り組んでいる。</p> <p>教師は子ども一人一人の成長に期待し、今大切にしていきたいことを保護者に伝え、一日を通して育んでいけるよう支えている。</p>
	教師としての業務と責任				
	組織の一員としての在り方の意識				
	専門的・社会的知識の研修と意欲				
④ 保護者への対応	適確な情報発信と受信をしているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や保育後の面談を活用しながら子ども達の家庭での様子や幼稚園での事柄について連携を取り合い、日々の様子を確認し合った。 	B	<p>送迎や行事などで教師との交流があり、我が子の様子を知る機会はあるが、仕事をもつ保護者が増えてきているため時間がとれず、定期的に子どもの様子を知らせてもらいたいという声もある。</p> <p>出席が必要な行事の日程や時間帯など、早めに知らせていただきたい。</p>
	園長に報告し、相談しているか				
	守秘義務を守っているか				

	礼節・良識をもって 対応しているか				
⑤ 地域の 幼児教 育センタ ーとして の役割	地域環境や 人々との関 わりと理解	A	・今後の反省点として、 教員同士の連絡、保護 者との向き合い方につ いて重点を置きたい。	A	浜松城公園・中央図書館・科学館など身 近な施設を利用し、様々な体験ができた。 他園とのドッジボール大会・中高生の保育 体験の受け入れなど、積極的に交流の場を 設けている。 未就園児のためのまつぼっくりの会は、週1 回開催。親子での遊び場・交流の場とし て、季節や年齢に合わせた活動内容で実 施している。
	小学校との 連携と保育 園との交流				
	地域との交 流・配慮の 在り方				
	未就園児に 対する支援				
⑥環境安全 管理	危機管理対 策	B	施設点検なども業者を 入れ行った。安全管理 においては、園舎北側 の駐車場整備がこれか らの大きな課題である。	B	日頃の訓練により、子どもへの意識を高め、 落ち着いて行動できるよう指導している。 災害時の非常食や水等の備蓄の点検を し、災害への備えをしている。 園のセキュリティに関して、フェンスが低い 事や門や駐車場について、不安を感じる保 護者もいる。
	施設・設備・ 園児に対す る安全対策				
	衛生に対す る安全管理				
	防災対策が 整っているか				
⑦預かり保 育・給食・補 助活動	預かり保育 の内容の充 実度	B	預かり保育(朝～帰り) を保護者のニーズに合 わせ対応いくようにした。 ・自園での給食につい て、保護者の方の協力 のもと、今年も一年間行 うことが出来た。しかし、 今後も参加をして頂く保 護者の方の確保につい ては問題があると言え る。 ・週2回の体操教室に おいては、外部からの園	B	延長保育や長期休暇中の預かりは、保護 者のニーズに合わせて行っている。 仕事を持つ保護者は、預かり時間が少しで も長くなることを望んでいる。 手作り給食は、子どもたちの食育の場となっ ている。 給食当番は、一部の保護者が多く行うこと で成り立っているため、無理のない当番制を 検討するべきである。
	給食の衛生 管理				
	時間外活動 への対応 (体育教室・ サッカー教 室)				

			<p>児も受け入れているため、駐車場や園庭での遊びのマナーを徹底していかなければならない。</p>	
<p>⑨ 外部アンケート</p>	<p>結果を踏まえた課題の検証</p>	<p>B</p>	<p>・各クラスの保護者の方との懇親会やアンケートをもとに意見交換を行い、今後の松城幼稚園、そして子ども達のために大切なことを園全体で考えていく。</p>	<p>B</p>
	<p>保護者の意見・要望の集約と対応</p>			
	<p>情報発信と共通理解の在り方</p>			
	<p>適正な判断と改善努力</p>			
			<p>保護者の意見・要望を取り入れながら、よりよい園作りへの意志を感じる。</p> <p>意見に基づく改善が実際には難しい場合でも、意見に対する園の考え方を示していくことが必要と思われる。</p>	

評価目標の取り組み結果及び反省

今年、2年間行った共同研修による「運動あそび」の成果により、子ども達の集中力や達成感が養われた。

- ・一つの物事を軸に、何事にも友達同士で切磋琢磨し、苦手な事にもチャレンジする大きな心の成長が見られた。
- ・働いている保護者の方の負担にならないよう、子ども達にとって一番大切なこの時期を、我々保育者と保護者の方々と共により良いものにしていける園でありたいと考える。

学校関係者評価委員会からのコメント(今後の課題等)

今後も、キリスト教理念に基づいた子ども達の心を育て、教師が子ども達一人ひとりを理解した教育方針のもと園児と接していきたい。

- ・園と保育者が一つになり、子どもにとって良い園づくりを目指してほしいと願う。